



創刊：昭和24年11月
発刊：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模児童養護施設 菜の花
住所：〒344-0112
埼玉県春日部市西金野井337
TEL：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<https://kodomonomachi.jp/>

「働きがいのある職場づくり」

社会福祉法人 子供の町
理事長 斉之平 伸一

子供の町では、現在、有限会社人事・労務様のご協力の下、給与制度の改革、職場風土の整備を行っています。このプロジェクトにより、働きがいのある職場を築きたと考えています。

子供の町の職員のは、24時間365日、献身的に入所している子供たちのために尽力しています。

日々の仕事が適正に評価され、処遇に反映され、更に、仕事を行う上で、働きがい向上につながる制度をつくり上げます。頑張った人が適正に報いられるために人事評価を行います。人事評価が人材育成につながるようにします。

給与制度改革と同時に、職場風土の改革も進行中です。仕事はチームワークで行われます。近くの人が忙しいとき、困っているとき、不安に思っているとき、是非、応援してください。助け、いつか、助けられる。このような支援型の温かい職場を定着させたいものです。

また、職場には、トップダウン型とボトムアップ型があります。危機に対応するには、トップダウン型が有効ですが、通常は、ボトムアップ型の方が、職員のモチベーション向上につながります。職員満足度の高いボトムアップ型の職場をつくるために、有限会社人事・労務様は、ワールドカフェ(知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンにリラックスして会話をを行う、『カフェ』のような空間でこそ創発される)を活用しています。プロジェクトの名前は、「こまちワクワクプロジェクト」

です。全員参加型の職場風土の改革になりますので、楽しく効果的な、職員の満足度が高い改革になっていると思います。

「いま、考えること」

社会福祉法人 子供の町
会長 田中 文男

将来、どういう職業に就いたらいいだろうか。それ+を考え出したのは高校に入ってからでした。本を読む事は大好きでしたが手先は不器用。理数は嫌い。たった一回、中学生時代、おたふく風邪で英語の授業を欠席したら、もうさっぱり解らなくなってしまって、たちまち嫌いになりました。背も高くないので、ここでもコンプレックス。もちろん、将来、人の上に立とうなどとは夢にも思っていませんでした。

そういう少年時代を過ごした私が今は医療器械メーカーのオーナー。大学生時代に、バイトしたのがきっかけで、文学部出身なのに医療器械会社を立ち上げておりました。一般の方はあまり分からないと思いますが、医療器械というものは全て科学と工業と理化学の世界です。気が付くと会社を創立してもう五十年。その道一筋で生きてしまいました。創立当時、製品をどこに販売したらいいの?と思った時、日本国内より海外がいいと考えました。英語が大嫌いだった私です。商社の方々の力を借り、自社にも貿易部を創設しました。運が良かったのかもしれませんが、そういう私を海外の人も含めて多くの方々が支えて下さいました。

「君たちはどう生きるか」という本がベストセラー

となっていますが、どう生きるかの前に人を裏切らないという生き方が今日の私につながっていると思っています。

血圧計を中心とした製品は毎年、五十か国以上の国に輸出しております。八十四歳になるのに、たった一人で一月にはバルセロナ、二月はドバイ、三月はジャカルタに出張して来ました。あんなにも嫌いな英語で商談をして来るのです。

中学生、高校生時代から自分の将来を予測し、その道に進めたら最高の幸せです。でもほとんどの人が、自分の考えていた道とは異なる世界に進んでしまうのが事実のような気がします。道が分からなくてもそれを支えてくれる仲間はきっとそばに居ます。居なかったら探して下さい。そのためには、人を裏切らないことです。可能ならば大学、専門学校で学んで下さい。

また、両親がいない子なんて日本中に沢山あります。それを理由にする生き方なんて、つまらないと思いませんか？余談ですが、コンビニで働いている多くの外国人。彼らは夢を持って日本に来ております。あなたには、これほど人手不足になっている日本で活躍する場所が沢山あるはずですよ。どう生きるかは、あなたに創って頂きたい。それをサポートするのが私たち大人の役目だと思っています。

分からなかったら相談して下さい。だって、私だって、子供の時、早く両親を失くしているんですから。しかし、ビリでも高校を出、大学に行きました。その頃歩いた道が、まだ、私には続いています。あなただって、充分、できると思います。大切なのは「どう生きるか」と同時に、「どう生きてきたか」だと思うのです。

「子供の町後援会のこと」

社会福祉法人 子供の町
後援会会長 松平 恒忠

昭和20年8月、戦争が終わった時、私は小学3年生でした。母と弟の三人で田舎に疎開し、その小学校(当時は国民学校)に通っていました。その年の暮れに父が無事にシンガポール(当時の昭南島)から帰国してきましたので、私たちは幸運にも焼け残った渋谷の家に戻りました。渋谷は完全な焼け野原で、駅前前のハチ公広場には闇市が沢山出ました。駅の周辺には、私と同年位の震災孤児が沢山いました。度重なる空襲で両親も住む家も失い、頼るべき親類もいない子どもたちが、自分たちで必死に食べ物を探して生きていたのです。

当時は、日本人全員が大貧乏で、子どもたちを助

けるゆとりもなかった時代でした。「火垂るの墓」というアニメやラジオドラマ「鐘のなる丘」などに、その頃のことが描かれています。子どもだった私も、しかしたら同じ運命になっていたかもしれないと、つくづく考えたものです。

昭和24年に、私の祖母の松平信子が会長となり「財団法人子供の町」が設立され、大勢の人たちの努力により震災孤児たちの住む所が出来ました。その後、昭和35年に「子供の町後援会」が作られました。

それから長い月日が経ちました。今は子供の町には震災孤児は一人もいません。しかし、物質的にどんなに豊かな時代が来ても、いろいろな事情で両親と一緒に暮らすことが出来ない子どもたちが世界中に沢山います。日本もその例外ではありません。子供の町が必要でなくなる時代はなかなか来ないのです。

子供の町後援会は、そこで暮らす子どもたち皆さんが心身ともに少しでも楽しく、心豊かな生活をおくっていくことが出来るように、一生懸命努力しています。施設での毎日や、それから施設を巣立って社会に出て行く時のお手伝いもしたいと考えています。そのためにはお金が必要です。後援会の私たちは、いつも資金集めのことを考えています。バザーや寄付のお願いなど、いろいろと知恵を絞って活動しています。

子どもたちには、「皆さん方を心からお応援している後援会がある」ということを知ってくださるよう、そして、少しでも楽しく心豊かな生活をおくってほしいと願っています。

終わりに、『子供の町だより』をお読みくださった皆様方には、これからも子どもへたちのご理解と「子供の町後援会」へのご支援を切にお願いいたします。

「電話の向こうに見えるもの」

子供の町・エンジェルホーム 施設長
根岸 昇

4月から子供の町(定員80名)エンジェルホーム(定員65名)の施設長を兼任することになりました。8年前までは子供の町だけで150名定員でほぼ満床でしたので、「その頃と同じような感覚です」と言ったりしますが、子ども一人一人の課題は重篤化傾向にあり、子どもの権利=最善の利益の確保に向けて丁寧な支援を強化するためにはできるだけ早期にエンジェルホーム施設長の選任が必要なことは

言うまでもありません。

春先は卒園生たちからも新年度にちなんだ電話連絡がありましたので、ご紹介します。私は携帯電話をマナーモードにしておくことが常であり「役立たず!」と言われることが多々あります。卒園生Aさん(40代女性)からの着信に気づかず、数日後にようやく受けることができました。声と話し方は高校生時代と全く変わらず、すぐにわかりました。「あのね、私保育士の学校を卒業したの!」彼女は小2と年中組の男の子がいるお母さん。次男に味覚障?があり、お米・豆腐など白い食材しか食べないというのを聞いたことがありました。自分の子どもへの養育知識を高める為に保育士資格を取ろうと思ひ、今後は国家試験を受けるそうです。「母は強し!」ですね。

24歳Bさん(女性)からの電話はあまりにも突然でした。高1の時に中退・家庭引き取りとなって以来、初めての電話でした。「あのね、8月11日に結婚式と披露宴やるのね、出てくれる?」受話器の向こうで娘さんのぐずる声が聞こえ、Mさんが「オマルにしていよいよ!」と促していました。子どもがいることは卒園生仲間から聞いていましたが、御主人がMさんの願いを叶えようと準備してくれたそうです。幼児期から高校時代まで担当してくれた6名の職員(退職者3名)を招待したいそうです。私は入所時の幼児期に担当しただけですのでびっくりしました。

26歳Cさん(男性)は0歳から22歳まで乳児院・子供の町と施設で暮らし、子供の町から大学に通い卒業した第1号です。小学校教諭になって6年目、今年度は5年生担任で体育主任。朝は6時過ぎにアパートを出て、帰りも9~10時。土曜日も出勤し、持ち帰り業務も多いそうです。運動会の全種目の構想・シナリオ作成、組体操の構想作りなどの準備も任せられ、男性教諭が少ないために対応困難な子どもの受け持ちも期待されるそうです。今回はアパート契約更新時の保証人継続手続きの依頼でした。法人の保障を前提に私が保証人を受けています。数日後に居酒屋で会って保証人の署名・押印をし、一緒にビールを飲みました。そろそろパートナーの話は?と向けるが、「結婚に良いイメージがないので結婚しなくてもいいと思っている」と彼。「良い出会いがあれば変わるよ」と私。

最近は何でもメールで済ませる傾向にあります。やはり肉声による電話の会話は貴重です。お互いに生の雰囲気や側の様子が感じられます。夜間の電話当番で若い職員が昔の卒園生からの電話を受けるこ

とがあり、翌日伝言メモを受取ります。「根岸さんと話したいですとおっしゃって、三度“いらっしやらない”と伝えましたが、何度も“話したいと。話し方が独特でとても暗いです。”誰なのか推測できるのも電話ならではです。

職員から

「1年を振り返って」

子供の町 ひまわり 相川 望

昨年度子供の町で働くことになってからあつという間に1年が経ちました。1年前は右も左もわからない状況で不安もいっぱいの中、子供たち全員の前で自己紹介をし「子供たちの元気に負けないよう頑張ります」と意気込んでいましたが3日ほどで子供のパワフルさに負けてしまいそうになったことを覚えていません。今年度はまだ先輩方に教えてもらうことばかりですが1つずつしっかり積み重ねていくことを第一に考えていきたいです。また子供たちとはたくさん時間を過ごし、毎日の経験からいろいろなことを学び実行していきたいです。

「2年目の抱負」

子供の町 すいせん 木村 理那

今年の抱負は、「時間を有効に使う」ことです。昨年は、慣れない家事業務や事務業務、子どもたちへの対応などで時間にも精神的にも余裕がなく、一日が本当にあつという間に過ぎていきました。こうして振り返ってみると、優先順位を決めずに目先のことだけを行っていたことが原因だとわかりました。家事業務に関しては、自分なりの流れをつかめるようになったことで、子どもたちとのかかわりが増えたことを実感しています。少しずつでも、子どもたちとの時間を多く作れるよう、一日一日を大切にしたいと思います。

「二年目になって」

エンジェルホーム 6寮 臼井 彩香

子供の町の職員として働き始めて、2年が経ちました。1日があつという間に過ぎ、忙しくも楽しい1年でした。1年が経ち、環境にも慣れ、子どもたちの性格も少しずつ分かり始め、やっとなスタート地点に立ったと思います。

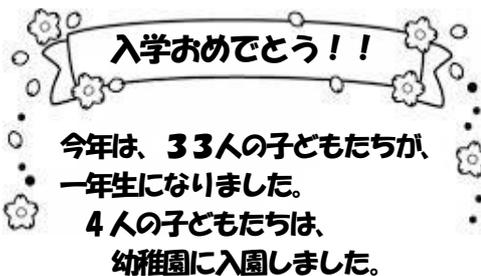
2年目は、子どもたちとたくさん関わり、安心できる場所となれるよう、頑張ります。

「初心に戻って」

子供の町 家庭支援専門相談員 藤村 美子
今年桜の開花が例年より早く春の訪れが早かったです。新年度が始まりあつという間に2ヶ月がたってしまいました。家庭支援専門職員として4月から新しい仕事をしています。どこから、何からやっていけばいいのだろう..と悩みましたが、基本に戻り子どもたちと遊びながらお互いの事をわかり合えたらいいなと思い、寮にお手伝いに入らせてもらったり、ご飯を一緒に食べたりしながら、交流をしています。今まで挨拶くらいしかできていなかった職員さんともお話しをしたいと思っています。お声をかけさせて頂く事があるかもしれません。宜しくお願い致します。

「心理士としての支援」

エンジェルホーム 心理士 木村 友理佳
エンジェルホームで心理士として働き始め、約一年が経ちました。心理士の仕事としては、主にプレイセラピーや面接、心理検査等を含む心理アセスメントやコンサルテーションを中心としています。児童養護施設にいる子どもたちは、年齢も幅広いため、それぞれの発達段階に合わせた関わりを考えていく必要があります。また、子どもたちの行動上の問題は、一見似たような行動特徴を示している場合でも背景にある要因や感情は様々です。近年は、社会の中でも効率化や機械化が進み、生活する上では便利なことが増えました。しかし、人と人との関わりの上では、効率化とは反対にゆっくりと時間をかけることによって見えてくるものや深まってくるものがあり、それは失ってはならないとても大切なことのように感じます。対人援助職は、バーンアウト(燃え尽き症候群)が多いと言われてるように、成果が目に見え難く、自信やモチベーションを保ち続けていくことも難しい職業であると感じます。しかしながら、時間を重ねることで生まれる目に見えないものの中にこそ本質や大切なこともあると信じて、私はこれからも子ども一人一人の背景にあるものや個性に目を向けながら、子どもたちと関わっていき続けたいと思います。



「1ねんせいになって」

エンジェルホーム 9寮 S. T.

ぼくは、1ねんせいになってらんどせるをしようことが、たのしみでした。らんどせるにたくさんのかしよをいれてがっこうでべんきょうするのがたのしいです。これからべんきょうをがんばりたいです。べんきょうのなかでもずこうがすきです。やすみじかんにはそとであそんだり、えをかいてます。ともだちもひとりできました。いまはとなりのせきです。たくさんあそんだりおはなしをしています。たくさんおともだちをつくりたいです。

「いちねんせいになったよ」

子供の町 ゆり A.O.

こうひつがすきです。いっぱいれんしゅうしてじょうずになりたいです。あさがおのたねをうえました。はながさいてほしいので、まいにちみずやりをします。さんすうもすきです。すうじがたくさんかけました。これからもがっこうせいかつができるようにがんばります。

「1ねんせいのでんぼること」

エンジェルホーム 6寮 R. H.

サッカーをがんばりたいです。べんきょうをがんばりたいです。

「中学生になって」

子供の町 3寮 Y. A.

中学校に進学して、いま特に熱中していることは部活動である。部所属して、日々の作法を主に学んで目を見てあいさつ
 活は野球部に練習で、礼儀いる。例えば、することの大切さを学び、寮の生活でも活かしていきたい。将来

は、厳しくて優しく教えられる先輩を目指している。そして、不動心の心を持ちレギュラーとして試合で活躍し、その姿を後輩たちに見せて葛中魂を伝えていきたい。礼儀正しく振舞える大人になれるように精進していく。

「中学生になって頑張ること」

エンジェルホーム 5B寮 M. H.

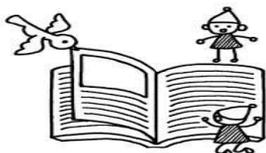
私は中学校にあがれる嬉しさとクラスのみならず仲良くできるかの不安がありました。でも入学式となると大きな声でへんじができたので良かったです。私はたくさんの友達を作りたいです。勉強面では数学と英語をがんばりたいです。数学はあまりとくいではないので問題をすぐとけるくらいがんばって勉強したいです。

「高校生になって」

エンジェルホーム 9寮 T. H.

僕は、今年の春に高校生になりました。最初のうちは緊張したけど、今はサッカー一部にも入って、先輩とも仲良くなることが出来ました。サッカー部ではエースになって大会にも出て、たくさん活躍したいです。

☆おまけ『僕の趣味』☆僕は最近、本を読むことにはまっています。僕が好きな作家さんで「山田悠介」と言う作家さんにはまっています。その中でも僕が一番好きな本は「93番目の君」と言う作品にはまっています。この本は、ロボットと命が生み出した奇跡の物語になっているので、ぜひ読んでみて下さい。



「高校生になって」

子供の町 菜の花 B. O.

私は、高校生になって思ったことは、中学の時よりも時間がたつのが早いなと思いました。部活も中学校の時は、最長でも6時半でしたが、高校では普通に7時以降やります。これからは、インターハイ予選なのでもっと練習時間が長くなると思います。そのため私はこれからの高校生活を楽しくおくれるように睡眠や食事をおこたらないようにしっかり生活していきたいです。

「いちねんせいになって」

子供の町 ひまわり Y. M.

わたしは、いちねんせいになって、おべんきょうをがんばりたいです。なんでかという、いちねんせいになったからです。ぴかぴかのらんどせるをせおえてうれしいです。おともだちもたくさんくれるようにがんばります。

「高校生になって」

子供の町 あおば Y. S.

高校生になって、僕は大事なことに気がきました。それは、児童養護施設の大切さです。

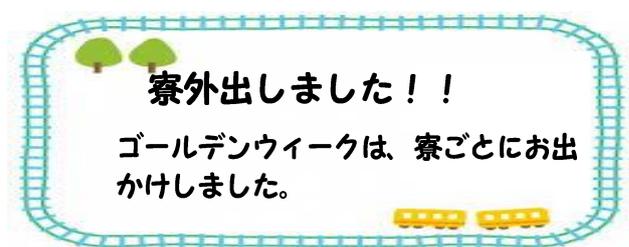
僕は、子供の町に来て、約14年が経ちます。僕みたいに施設で長く暮らしていると、大人が面倒だったりうるさいことがよくあります。

しかし、大人は僕たちが施設を出たあとのことを考えて、いろいろ言ってくれていることに気付いたので、これからは、大人のいうことをしっかり聞こうと思いました。

「中学生になって」

子供の町 菜の花 R. Y.

私は、中学生になって頑張りたいことがあります。それは、勉強と部活を両立させることです。私は、「理科」が特に苦手なので、まずは小学生の復習からしっかりやっていきたいです。部活は、美術部に入部したので、たくさんの絵を描いてコンテストなどに出品してたくさんの賞をとりたいです。そして中学生生活を、3年間楽しんでいきたいです。



寮外出しました！！
ゴールデンウィークは、寮ごとにお出かけしました。

「ツインリンクもてぎ」

子供の町 3寮 小4 R. H.

ぼくは、外出でツインリンクもてぎに行きました。アスレチックとのりものがあった、ぼくがたのしかったのはのりものです。

どうしてかという、のりものでうんてんやゲームができて、くるまののりものでは、がたがたした道や水が出る道もあっておもしろかったです。それといちごがりでいちごをたくさん食べて、おなかいっぱいになって、とてもたのしい1日でした。

「楽しかった潮干狩り」

エンジェルホーム 5B寮 中2 A. W.

私は5月5日(土)に5Bのみんなで「潮干狩り」に行きました。潮干狩りは初めてだったので、全然とれないと思いました。予想通り最初は全然とれませんでしたが、でもと中からどんどんとれるようになりました。すごく楽しかったです。夜はすたみな太郎でごはんを食べました。すごくおなかいっぱいになりました。すごく楽しかったのでまた行きたいとおもいました。

「ふなばし三番瀬海浜公園潮干狩り」

エンジェルホーム 5B 職員 曾原瑞恵

5B寮は5月5日に船橋へ潮干狩りへ行きました。初めての経験となる子どもも多く、貝に触れる事を不安がる子どももいましたが、行ってみれば皆あさり採りに夢中になっていました。中にはヤドカリや小さなカニを捕まえている子どもも。

外出に行った翌日には収穫して来たあさを酒蒸しとバター醤油で頂き、外出後も楽しめる経験となりました。

「大凧祭り」

エンジェルホーム 5A寮 高1 M. K.

私は5月5日に春日部大凧祭りに行きました。風は少し強かったのですが天気は良かったので、空にはたくさんのお凧が上がっていました。その中でも特に私が気に入ったお凧が二つありました。『平成』と『伝統』です。平成は今年で最後の年で、すぐに落ちてしまいました。伝統はずっと上がっていて、私は『平成』が終わっても大凧の『伝統』は続いて欲しいと思いました。



「大凧祭り外出」

エンジェルホーム

5A寮 主任 松森奈緒子

異動して初めて子どもたちと外出に行きました。子どもたち、と言っても帰省や部活動に忙しく、結局3人と私のみの外出となりました。以前いた寮では、施設から大凧を揚げる会場まで往復歩いて行ったこともありましたが、年々体力の衰えを感じずにはいられません。今年は早めに出発し、悠々と駐車場から会場まで向かいました。

引率した子どもの中には、一度も行ったことがない子どももおり、私にとってはいつものコースでも、祭りを楽しくしてくれる姿やわいわいと過ごす姿を見て、どんな形でも外出するのはいいなと改めて感じました。

肝心の大凧は短い時間ではありましたが、揚がる姿を見ることができました。小学生らは大凧よりも専ら草すべりにハマったようで、楽しみ方も人それぞれだなとは思いました。

願わくば、この伝統ある行事を毎年楽しみにしてもらえると嬉しく思います。今年度も子どもたちと様々な場所に出向き、成長を傍らで見守っていきたいです。



「ビヨンドトゥモロー(注)」に参加して

子供の町 あおば 高3 S. F.

2歳の時に児童養護施設に来て暮らすようになった私には、家庭の記憶というものほとんどありません。児童養護施設に暮らすのが自分にとっては自然なことで、なげくこともなく育ちました。もちろん、辛いことがなかったわけではありません。小学生の時、暮らしている寮で高校生にいじめられ、暴力を受ける日々が続いたことがあります。施設の職員に助けを求めたら、いじめは更にエスカレートしてしまい、ただただ耐えるだけの日々でした。でも、当時、私が暮らす寮では、年配の子が小さい子をいじめるというのは日常的に起きていて、みんなが暴力に耐えていました。

その経験がきっかけで、私は、児童養護施設の職員になり、自分のように辛い状況にある子どもたちに寄り添いたいという夢ができました。児童養護施設から大学に進学する人は多くありませんが、自分の周りで進学した人がいたこともあり、自分も、大学に進学して、教員免許を取り、子どものために働きたいと思うようになりました。児童養護施設で保護された子どもを受け入れるだけでなく、危険な状況にある子どもを保護する仕事にも関心があります。

しかし、こういった話を、今、友だちに話せるかという、そういうわけではありません。高校の友だちとは、児童養護施設に暮らしていると言うと、その場の雰囲気や重くしてしまう気がして、言わないことがほとんどです。だから、自分の夢についても、友だちに言うことはなかったし、本音を隠して自分の意見をあやふやにして、自分をつくってきたように思います。でも、こころのどこかでは共感を求めている、誰かと話したくて、そんな時に出会ったのが、ビヨンドトゥモローでした。

高校1年の終わりに、施設の職員からビヨンドトゥモローのチラシをもらいました。それまで、外部のイベントに行くことはなかったので不安はありましたが、自分と同じように施設に暮らしている人に会ってみたいという気持ちがあったので、参加することを決意しました。

昨年の3月に初めてのプログラムがあり、初対面の人たちと打ち解けられるか、不安な気持ちいっぱいでした。最初の夜に「体験共有」という時間がありました。そこで、自分のこれまでの話を全て話して、気が付いたら打ち解けていました。4日間のプログラムを通して、緊張することもなく人と話していて、それは人生で初めての体験でした。

3月の活動で、東北被災地に行ったことも印象的です。東日本大震災があった時、私は、小学4年生でした。テレビで津波の被害をみて、でも、自分にとってはあまり実感がわきませんでした。でも、中学生になって、あるテレビ番組を観て意識が変わりました。震災で、津波でお母さんと流されて、お母さんを置いて逃げなければならなかった子どもの話で「ごめんね」と言いながら逃げた子どもの気持ちを思うと、津波の恐ろしさが実感され、自分の意識が変わりました。

そして高校生になり、ビヨンドトゥモローで初めて東北に行き、陸前高田、気仙沼、南三陸を訪れ、現地の人々に話を聞きました。実際に津波が来た高さを見ると、津波の恐ろしさを改めて感じ、実際に見ないとわからないことがあるということを実感しました。

ビヨンドトゥモローでの様々な活動が刺激となり、「変わりたい」と思いうになりました。変わりたいと思ったのは、人生で初めてのことで、自分の意見をきちんと言えるようになりたい、そして変わるとするならば、ビヨンドトゥモローで変わるしかない、と思いました。それは、ビヨンドトゥモローが隠すことなく何でも言えて、自分が自分であることのできる場所だからだと思います。もしもビヨンドトゥモローに参加していなかったら、今頃自分は何をしているのだろうとのだろうか考えると、怖くなるほど充実した1年間でした。

このような1年間を過ごすことができたのは、ビヨンドトゥモローの先輩たちの存在があります。高校2年生で初めて参加して、緊張していた時、3年生の先輩たちが話しかけてきてくれて、緊張をほどいてくれたことを覚えています。ディスカッションや様々な活動でも、いつも先輩たちを頼ってばかりで先輩たちは、本当に大きな存在だったので先輩たちなしでちゃんとやっていけるのか不安ですが、今まで先輩たちが私にしてきてくれたことを受け継いで、新年度に入って

く新しいメンバーたちにやってあげられるようにしていきたいと思います。

そして、私たちビヨンドトゥモロー1期生の縁や絆は一生続くものだと思うし、大人になってからも、このビヨンドトゥモローの今のように語り合えたらいいなと思います。ありがとうございました。

(注) ビヨンドトゥモローとは、一般社団法人教育支援グローバル基金が主催する人材養成プログラムです。全国の児童養護施設に暮らす高校生たちが参加しています。



春日部市の松葉寿司さんが、子どもたちのために、お寿司をごちそうして下さいました。ありがとうございました。

「おいしかったおすし」

子供の町 ひまわり 小6 M. I.

この前、おすしのボランティアさんが来てくれて、おすしを食べました。私は、いくらが一番大好きです。ひさしぶりに食べたおすしは、とってもおいしかったです。また来てほしいです。

「松葉寿司ボランティア」

子供の町 すいせん 小5 R. T.

おすしボランティアのみなさん、おいしいおすしをありがとうございました。わたしは、いろんなしゅるいのおすしを食べました。ちなみに、一番おいしかったのはえびのおすしがすごくおいしかったです。いっぱいおかわりがあったので、まぐろにワサビがはいつたけど、すごくおいしかったです。次は、ワサビが入ったのが食べられるといいです。おいしいおすしをありがとうございました。

「おいしかったおすし」

子供の町 たんぽぽ 小5 Y. S.

ぼくは、おすしが大好きです。毎年きてくれるのを楽しみにしています。給食室でおすしを作っているところを見に行きました。たくさんのおすしを作っていました。ぼくは、たくさん食べました。とても美味しかったです。ありがとうございました。





子供の町あれこれ

◆子どもたちが待ちに待ったグラウンドがオープンしました。午後1時、オープニングとしてバスケットのミニゲームを企画しました。男性職員チーム(小5年1名含む)・男子高校生チーム・女子チーム(中学4名・高校生1名)で対戦。3点先取で総当たり戦。職員チームは女子チームに快勝、予想に反して男子高校生チームは女子チームに惜敗。

今まで園庭ではほとんど遊んでいなかった高校生たちも、男女混合でバスケットボールを楽しんだり、高校生がフットサルを楽しんでいます。グラウンドオープン前に使い方のルールを決める際、各寮舎の子ども代表者に集ってもらい、意見を出してもらいました。子どもたちからは私の予想を超える「建設的な意見」が出され、最終的なまとめも職員が作成したかのようなルールになりました。子どもは成長するものですね。
*平日は2時～4時まで小3年以下、4時～5時半まで小4以上。

*休日は午前中11時半までは小3年以下、午後1時から小4年以上。春日部市の夕方の音楽が鳴るまで(今の季節は5時半)。

- *サッカーとバスケットボールだけで使用する。
- *硬いボールを使用することが出来る。
- *グラウンド入口のカギはかけない。

◆T君からのお土産。中2年の時に他児への暴力・暴言が修正困難のために児童自立支援施設に措置変更

になりましたが、卒業して定時制高校に入学したことを報告に来てくれました。礼儀正しく自然な笑顔で雄弁に「あの時はいろいろ迷惑をかけました。」お土産にいただいたドーナツの味は格別でした。職員さんも嬉々としていました。

◆6月1日付で2施設3名が障害児施設へ措置変更となりました。子供の町は小6女児。知的な障害は軽度ですが、多動・衝動性が高い・興奮すると器物破損・施設からの夜間早朝の抜け出し・学校からの抜け出し、トカゲに対する異常な執着など、将来的にも児童養護施設での行動修正は困難であると判断し、児童相談所への意見書提出から2年経過しての措置変更でした。対応困難な親権者に理解してもらい同意を得ることに多くの時間が必要で、児童相談所担当者の根気強い親権者への働きかけが功を奏して、この時期の措置変更が実現したのです。児童相談所職員が本人に告知して3日後の朝、職員朝礼の場で本人からお別れの挨拶。「1年間」と言い始めて、慌てて職員が「7年間」と耳打しました。しっかりと挨拶が出来ましたが、寂しい気持ちにもなりました。

エンジェルホームでは小6男児と中2男児の兄弟。弟は軽度の知的障害と興奮した際のパニック・職員への暴力等が主たる理由でした。兄は支援学校中等部在籍、場面や人による緘黙もあり、将来的な生活支援・就労支援を視野に入れての判断でした。彼らは事務所のお掃除お手伝いや近隣のブルーベリー農園のお手伝いに来てくれていました。心根の優しさを持っている子どもたちですので、心豊かに幸せにと切に願っています。



H30年4月～5月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

芦沢 千恵美
荒木 嗣則
アックス株式会社
株式会社イシモ建設
一般社団法人 未来の子どもたちへ
NPO法人フードバンク埼玉
内堀医院
越原 光子
コンマ(Comma)
小泉 雅行
齋藤貞子

齋藤良平
(株)J's Factory 保屋野 義彦
白石和代
台東区民生委員児童委員有志
田代 三和子
(株)第一公報社
太平 内牧夢らんど
太平 かすかべ夢らんど
太平 杉戸夢らんど
太平 平方夢らんど
太平 エルアンドエル

太平プレイランド関宿店
千鳥屋総本家(株)
(株)千葉銀行
チュチュアンナ
堂坂信行
浜友観光株式会社
(株)ヒイラギ
ムーンバット(株)
楽園 南越谷店
ワイワイカンパニー(株)
他 匿名の方

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

* 子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>